

日健廃止反対に決起せよ!

仲間たちノ

反動中曽根内閣

71-80年3月に発足させた臨時行政調査会は4年目に入った。

福祉切り捨て、公共事業削減、戦争政策一貫拡張と不沈没母

化へと突走っている。そして今度は、国民の命と健康までを

切ろう。としている。

それは、健康保険法、国民健康保険法等の一部を改正し、

健康保険法の一部を改正し、

① 被保険者の医療費一割負担

② 日産健康保険法の廃止

③ 国民健康保険国庫補助金の削減

前次 — などである。

日産健康保険法とは

日産健康保険は80年度までに57億円の累積赤字があるのに対し、大蔵省は厚生省に対し、83年度には赤字返済の計画見直しを提出

ない限り、84年度には日産を廃止するもの通告されたもので、今年7月には廃止するというものがある。

日産健康保険法一制度はきたのは、48年、満30年になった。それは

我々日産の先輩が、当時、病身、亡くなった。そんな中で、「日産者

者も併行者だ」「併行者としての健康保険を適用せよ」「一番悪い併行者で働いている者にこそ社会保険を」とねほり強いので克ち取った制度である。

そして、57億円の赤字のうち、2364億円(41%)で、まさに「サラ金地獄」にあちいっている。

① 日産併行者の就労が不安定で、しかも低賃金のため、保険料収入が少ないため。

② 被保険者に高年齢併行者が多く、無理な重なる併行と生活は病

気、亡存を生みだし、しかも早めの治療ができず、病気を長びさせてしまったため。

③ 大資本家による強権取と雇下の請制度による無権利、雇条件をもたらししているため。

日産廃止運動は日産併行者殺しのなにもでない。

仲間たちノ、我々日産労働者の生活権利をきちんと確保するために日産廃止反対に立ち上る必要はない。

仲間の團結を固めよう。来る由月二日(日)日産廃止にむけての署名活動を行いますので積極的協力を願います。日産労働者の解放は日産労働者の団結で勝ち取るぞいのだ。